

第2回学校保健委員会 ご挨拶

令和3年1月14日から大阪でも緊急事態宣言が発令となり、再度不要不急の外出やイベントの制限等感染防止対策が実施されています。学校については、一律の臨時休業は要請されていないものの、部活動の制限等入試シーズンを迎え一層の感染防止対策を進めることが求められています。しかしながら、大阪府立の学校では陽性者が出て3日間程度の休校を行っている学校がまだまだあとを絶ちません。

本校では、银杏祭・作品展・授業参観等本来ならお子様の様子を見ていただいて成長を確認しあうはずの貴重な機会が持てず、保護者の皆様には大変申し訳なく思っています。また、中学部の修学旅行が残念なことに学校でのイベント開催に変更となりました。高等部では、第2学年の校外実習が延期になるなど、来校していただき外へ出ていくことが制限され、例年と違うやり方を考える必要がいろいろなところで出てきています。

今現在、感染者数は減少してきているように報道されています。そしてワクチン接種の導入などもニュースになっていますが、今後どのようにこのウィルスと付き合っていくこととなるのかは、まだまだ未知数であると思います。

今回の第2回学校保健委員会も第1回に続いて書面での開催となってしまいました。今回は各学部や健康安全部から今年度の総括や新型コロナ対策として本校での取り組みが報告されます。教育庁も感染対策費として消毒液等の備品・消耗品の購入や主に学校内の消毒を担当するSSS(スクール・サポート・スタッフ)や学習支援員の配置等も行っています。授業の中でも合間合間の手洗いや距離を取り合うための言葉かけなどが定着し、子どもたち自身が注意できるようになってきました。教育活動に新しい生活様式を定着させることで、感染しない、もし感染してもクラスターを出さない学校であるために、学校医の先生方のお力もいただきながら、毎日みんなで頑張っていきたいと思っています。まだまだ寒い日が続く中、子どもたちの健康管理には大変なご苦勞をされているとは思いますが、これからもどうぞよろしく願いいたします。

令和3年2月8日
校長 大峠 貴弘
准校長 山本 真澄